ギジュツドットコムにおける教育用アプリの公開・授業利用ガイドライン
―生成AIを活用して作成・動作するアプリを含む―

一般社団法人ギジュツドットコム

1. 目的

ギジュツドットコムは、教員等が作成した教育用アプリの共有を通じて、授業改善及びものづくり・技術・情報教育の充実に資することを目的とする。本ガイドラインは、生成AIを活用して作成または動作するアプリを含め、ギジュツドットコムで公開・利用する教育用アプリ全般に適用する。

公開・利用に当たっては、児童生徒の安全、個人情報の保護、著作権等の権利の尊重、教育的妥当性及び学校・設置者の責任を重視する。教育用アプリは有用である一方、内容上の誤り、不適切な表示、技術的な不具合等を含む可能性がある。特に、生成AIを活用して作成または動作するアプリでは、もっともらしい誤情報や不適切な出力が生じる可能性があるため、利用者は本ガイドラインを踏まえ、各学校・教育委員会の規程に従って利用する。

2. 公開するアプリの基本要件

ギジュツドットコムで公開するアプリは、原則として次の要件を満たすものとする。

- 想定する対象学年・対象者、教育目的及び主な利用場面を明記する。
- 作成者、最終更新日、連絡先または不具合報告先を示す。
- 作成者が、公開前に内容・動作・リンク先を確認し、想定する端末・ブラウザで基本的な動作確認を行っている。
- 個人情報、機微性の高い情報及びアカウント情報を、アプリの作成者・運営者又は外部サービスが収集、保存又は送信することを、原則として求めない。ただし、本節のC類型に該当し、学校・教育委員会等の規程及び承認手続に従って取り扱う場合を除く。
- 不要な広告表示、課金誘導、外部サービスへの無断登録を含まない。
- 著作権、肖像権、商標権、ソフトウェア・素材のライセンスを確認している。
- アプリ内または紹介ページに、利用上の注意と制約を明記する。

対象学年・対象者の記載

対象学年・対象者の記載は、アプリを設計・公開した時点での利用目安を示すものであり、それ以外の者による利用を一律に制限するものではない。改変、二次利用または利用場面の変更を行う場合は、利用者の発達段階、安全性及び教育的妥当性を踏まえ、記載内容及びアプリの内容を見直す。

外部サービス及びデータ通信の表示

外部のAPI、クラウドサービス、アクセス解析、埋込みコンテンツその他外部サーバーと通信する機能を含むアプリは、通信先、送信する情報の種類、保存の有無および利用目的を掲載ページに明記する。

データの取扱い区分の表示

公開するアプリは、個人情報等の取扱いについて、次のいずれに該当するかを掲載ページに明記する。

A：個人情報等を入力・保存・送信しないアプリ

個人を特定できる情報を入力、保存または送信しないもの。

B：利用者の端末内でのみ情報を扱うアプリ

作品の表示、利用者の端末内への保存またはファイル名への付記のために、利用者が氏名等を入力することがあるが、その情報をクラウド、アプリのサーバーその他の外部サービスへ送信・保存せず、アプリの作成者・運営者その他の第三者が取得・閲覧できないもの。

C：外部通信または外部保存を行うアプリ

外部サービスへの送信、クラウド保存、ログイン、アカウント連携、共有、アクセス解析その他の外部通信を行うもの。ただし、公開サイトからアプリのプログラムや画像等を配信するのみで、利用者が入力した情報や作品データを送信・保存しないものは、この限りでない。

外部サービスへデータを送信する場合は、利用目的に必要な最小限の情報のみを送信する。氏名、学校名、メールアドレス、ファイル名その他個人を特定できる情報は、保存又は送信が不要な場合には削除又は置換する。保存又は送信が必要な場合は、学校・教育委員会等の規程及び承認手続に従い、利用目的、保存先、アクセス権限、保存期間及び削除方法を明示する。

学校・教育委員会等が管理または利用を承認したクラウドサービスに、児童生徒の氏名、作品その他の学習に関する情報を保存するアプリは、Cに該当する。これらのアプリは、学校等の規程に基づく利用、アクセス権限の適切な設定、保存先・利用目的・保存期間・削除方法の明示その他必要な措置を講じる場合に、個別確認を経て公開できるものとする。

送信・保存する情報の種類、保存先、保存期間、利用目的、閲覧できる者及び共有範囲、ログの取得・保存の有無並びに消去方法を掲載ページに明記する。他の利用者に作品、記録、得点、順位その他の情報を表示又は共有する機能を含む場合は、表示又は共有する情報、閲覧できる者及び共有範囲を明示し、氏名その他個人を特定できる情報を表示又は共有する必要性を十分に検討する。

Cに該当するアプリは、原則として第3節に定める個別確認の対象とする。ただし、児童

生徒の入力情報や作品データを外部に送信・保存せず、通信内容や利用目的が明確で、リスクが低いと運営者が判断したものについては、簡易な確認により公開できるものとする。

権利侵害への対応

作成者は、公開するアプリおよび掲載する文章、画像、音源、プログラム等について、必要な利用許諾またはライセンス条件を確認する。権利侵害のおそれに関する申出があった場合は、運営者は事実確認のため必要に応じて公開を一時停止できる。

公開する教材は、端末内又はブラウザ内で完結する単一HTML教材、シミュレーション、設計支援ツール等を基本とする。

公開後の見直し及び公開停止

作成者または運営者は、不適切な表示、重大な不具合、権利侵害のおそれ、情報セキュリティ上の問題その他公開の継続が適切でない事由を把握した場合は、必要に応じて速やかに公開を停止し、修正、注意喚起その他の対応を行う。

3. 公開できない、または個別確認を要するアプリ

原則として公開しないもの

- 氏名、メールアドレス、学校名、顔写真、音声等の個人情報について、利用目的、保存先、アクセス権限、保存期間及び削除方法を明らかにせず、アプリの作成者・運営者又は外部サービスが収集、保存又は送信するもの。ただし、第2節のB類型に該当するもの及び、学校・教育委員会等が管理又は利用を承認した環境で、第2節のC類型として個別確認を経たものを除く。
- 成績、出欠、健康、障害・特性、家庭状況、生活指導、相談内容等を、学校・教育委員会等の規程に基づく事前確認なく扱うもの。
- AIが評定、合否、進路、指導上の処分等を自動決定するもの。
- 医療、心理、法律、危険行為等について、個別の断定的な助言を行うもの。
- APIキーやパスワード等の秘密情報を、HTML・JavaScript等の公開部分に含むもの。
- 第三者の著作物・画像・音源・キャラクター等を、利用条件を確認せずに使用しているもの。

個別確認を要するもの

個別確認は、ギジュツドットコムの運営者が、アプリの教育目的、安全性、データの取扱い、外部サービスとの通信及び利用条件等について、作成者からの申告内容をもとに行うものとする。確認の結果、必要に応じて修正を求め、または公開を見送ることができる。

- 利用者が入力した情報、作品データ、ファイル名、ログその他の記録を、端末外に保存又は送信するもの。
- 生成AI APIその他の外部サービスへ、利用者の入力内容を送信するもの

・ログイン、アカウント連携、外部サービスへのファイルアップロード機能を含むもの
・生徒の成果物を学校外に共有・公開する機能を含むもの
・レポートへのフィードバック、自己評価支援、学習履歴の分析等において、児童生徒の学習情報を外部サービスへ送信・保存するもの、または教育上重要な判断に影響する機能を含むもの
・児童生徒の氏名、作品その他の学習に関する情報を、学校・教育委員会等が管理または利用を承認したクラウドサービスに保存するもの。

外部AIサービスを利用する場合は、入力データの利用目的、保存期間、学習利用の有無、保存先、第三者提供等を確認する必要がある。

4. 生成AI APIを利用するアプリの公開条件

API連携型アプリは、次のすべてを満たし、運営者による個別確認を経た場合に公開できるものとする。

・APIキーは利用者の端末側に埋め込まず、適切に管理されたサーバー側で扱う。
・ギジュツドットコムで一般公開するアプリは、個人情報・成績情報・相談記録等を生成AI APIへ送信しない設計とする。
・利用するAIサービス名、送信する情報の種類、データの取扱いを明記する。
・利用者に、個人情報を入力しないよう画面上で明確に注意喚起する。
・AI出力は参考情報であり、正確性・適切性を保証しないことを示す。
・年齢要件、利用規約、学校端末での利用可否を確認する。
・APIの仕様変更、利用規約変更、サービス終了時に、公開停止または改修できるようにする。

5. 授業で利用する際のガイドライン

教員の役割

・授業目標に照らして、アプリを使う必要性と効果を確認する。
・学校・教育委員会等の規程を確認した上で、授業前に、対象端末・ネットワーク・操作性・表示内容を確認する。
・アプリが示す結果、助言または生成AIの出力を、正解や評価の確定結果として無批判に扱わない。
・アプリの誤り、偏り、技術的な限界を踏まえるとともに、特に生成AIを利用する場合は、もっともらしい虚偽情報等自体も教材化し、情報活用能力の育成につなげる。
・学習者が入力してよい情報・入力してはいけない情報を、具体例で指導する。

・不適切な表示、不具合、児童生徒の困り感が生じた場合には、直ちに利用を中止できるようにする。
・BまたはCに該当するアプリを利用する場合は、データの保存先及び外部送信の有無を、児童生徒に分かりやすく説明する。

児童生徒への指導事項

・ 名前、生年月日、 学校名、住所、連絡先、顔写真、他者の個人情報は、教員の指示なく入力または外部サービスへ送信しない。
・AIの回答をそのまま正しいものとして提出・利用しない。
・教科書、資料、実験・観察、友達や先生との対話を通して確かめる。
・他者の作品や画像、文章を無断で利用しない。
・不適切な表示や不安を感じる内容が出た場合は、操作を止めて教員に報告する。

6. レポート評価・フィードバック支援アプリの扱い

ギジュツドットコムで公開するアプリのうち、実在する児童生徒のレポート、作品、自己評価などの学習に関する情報を扱うものは、その情報の取扱いに応じて適切に利用する。特に、外部サービスへの送信・保存を行う場合は、学校・教育委員会等の情報セキュリティポリシー、個人情報保護に関する規程及び生成AI利用に関する方針を確認した上で利用するものとする。

特に、成績、評定、出欠、生活指導、健康・相談に関する情報その他の重要な個人情報を扱う場合は、教員個人の判断のみで利用せず、学校管理者または設置者に事前に確認するものとする。

これらの機能を利用する教員等は、アプリのデータの取扱い、外部送信先、保存期間、利用規約、AIの学習利用の有無および情報セキュリティ上の留意点を確認し、利用の可否および利用方法を判断するものとする。

レポート評価・フィードバック支援アプリを利用する際は、次の事項に留意する。

・「AI採点」ではなく、教員による評価・フィードバックを支援するツールとして位置付ける。
・AIによる提案は、ルーブリックに照らした改善観点、質問例、文章表現等を中心とし、児童生徒の学びを支援するものとする。
・評定、成績、合否その他の教育上重要な判断は、必ず教員が根拠を確認して決定する。
・学校・教育委員会等が管理または利用を承認した環境で、実在する生徒のレポート等を外部AIサービスへ送信する場合は、学校・教育委員会等の方針、サービスの利用規

約およびデータの取扱いを確認した上で行う。ただし、ギジュツドットコムで一般公開するアプリについては、第4節の公開条件に従う。

・児童生徒や保護者に対して、入力する情報、利用目的およびデータの取扱いについて、必要に応じて分かりやすく説明する。

7. 掲載ページに共通で表示する注意書き

本アプリは、教育目的で作成・公開されています。アプリの表示内容には、誤りや不適切な表現が含まれる場合があります。特に生成AIを活用して作成または動作するアプリでは、生成された内容が正確でない場合があります。学習に用いる際は、教科書、授業資料、信頼できる情報源および教員の説明と照らし合わせてください。

氏名、生年月日、 学校名、住所、連絡先、写真、成績、健康・相談に関する情報など、個人を特定できる情報は、教員の指示及び学校・教育委員会等の規程に基づく場合を除き、外部サービスへ送信又は保存しないでください。

外部サービスに情報を保存するアプリを利用する場合は、保存先、共有範囲、保存期間及び削除方法を確認してください。

8. 公開申請時の確認項目

公開時に、作成者は以下の項目のうち、アプリの機能やデータの取扱いに該当する事項を確認してください。

・教育目的・対象・利用方法を記載した。
・データの取扱い区分（A、BまたはC）を記載した。
・個人情報、成績・相談情報等について、入力の有無、保存先、外部送信の有無及び削除方法を確認した。
・クラウド保存を行う場合は、学校・教育委員会等が管理または利用を承認したアカウント・共有設定で運用できることを確認した。
・保存先へのアクセスを、授業担当者その他必要な者に限定し、公開リンク等による不特定多数への共有を行わないことを確認した。
・アクセスログ、操作ログ、エラーログ、アクセス解析その他の記録について、取得の有無、保存先、保存期間及び利用目的を確認した。
・ 端末内または外部サービスに保存された情報を、利用者または学校が削除できる方法を確認した。
・利用するAIサービス名を明記した。
・APIキー・パスワードを公開ファイルに含めていない。
・年齢要件・利用規約を確認した。
・著作権・ライセンス・画像利用条件を確認した。

・生成AIを活用した場合は、生成内容およびアプリの動作を確認した。
・対象端末・ブラウザで基本的な動作を確認した。
・最終更新日を記載した。
・授業での利用上の注意を記載した。
・不適切な場合に、公開停止・修正に応じることに同意した。

9. 参考資料

・個人情報保護委員会「生成AIサービスの利用に関する注意喚起等について」 https://www.ppc.go.jp/news/careful_information/230602_AI_utilize_alert/
・文部科学省「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン（Ver.2.0）」 https://www.mext.go.jp/a_menu/other/mext_02412.html

制定日　2026年11月13日